



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 195

令和2年（2020年）8月7日発行

■ 立秋（りっしゅう） 令和2年8月7日から8月22日までの節気

夏なのにほとんどの人がマスクをして歩いています。もう目に慣れましたが、一年前には想像すらしなかった光景です。皆さま、お元気でいらっしゃいますか。人間の世界は大変なことになっていますが、季節はいつもと同じように流れ、二十四節気では、8月7日から22日まで「立秋」の節気となります。この時期に「秋が立つ」と言われても実感がわきませんが、“極まれば萌す”という言葉があるように、暑さが頂点に達すれば、後は秋の気配がだんだん増してくるということですね。日の入りの時間も、東京では今年の夏至、6月21日の日没が19時でした。そして立秋の8月7日が18：40分。一ヶ月半で、お日さまは約20分はやく沈んでいます。

ところで、8月11日は山の日で祝日・・・のはずなのですが、今年は8月10日（月）に移り、連休となっています。「山の日」は「海の日」があるなら山も！という理由で、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」日として2017年に制定されました。オリンピックの閉会式が9日（日）の予定だったので今年は連休になるように10日に変更されました。来年はオリンピック閉会式8日（日）が「山の日」となり、9日（月）が振替休日になるそうです。ちなみに開会式は7月23日（金）で「スポーツの日」（7月24日）を移動させるそうです。なんか混乱してしまいそう。

夏といえば、南国土佐は高知のよさこい祭り。同じ四国の徳島の「阿波踊り」。東京の高円寺「阿波踊り」。岐阜県郡上市の「郡上おどり」。けれども今年は全て中止となりました。8月13日から16日の月遅れのお盆も、故郷に帰れない方が多いのではないのでしょうか。16日は京都の五山の送り火です。今年は規模を大幅に縮小して行うそうです。「五山送り火連合会」の発表によると「大文字」は「大の字」の中心部と頂点、端の計6カ所に点火する。「鳥居形」は例年108

カ所に松明を設置するが、今年は上部 2 カ所だけの設置となる。「左大文字」は「大の字」の中心 1 カ所の点火とする。「船形」は、頂点 1 カ所の点火とする。「妙」「法」はいずれも中央部のみの点火とする」そうです。来年はいつもの送り火ができますようにと心から願います。

さて 8 月 8 日が面白い記念日になっているのをご存知ですか。まず、白玉の日。全国穀類工業協同組合が制定しました。なぜこの日かという、白玉を二つ積みあげると 8 の字にみえるからだそうです。白玉だんご、おいしいですよ。このまえ、白玉あずきをつくりました。冷やして食べたのですが、暑い日のおやつには最高です。

もう一つあります。「プチプチの日」。クッション材の気泡シート、通称プチプチの専門メーカー、川上産業が制定しました。それは、気泡シートをつぶしたときの音の五感が、パチパチという感じだからだそうです。試しに、うちにあるプチプチをつぶしてみました。そうしたら・・・、やっぱり、パチパチと聞こえました。音から連想して記念日を決めるなんてすごいですね。

さらに、もうひとつ。「そろばんの日」。全国珠算教育連盟がそろばんの普及と優れた機能をアピールするために、1968 年に制定しました。そろばんを弾く音、「ばち、ばち」で 8 月 8 日となりました。私の友人で、80 歳になる女性がいるのですが、暗算がすごく早いです。すごいわねえってみんなで感心したら、「子どものころそろばんを習っていたからよ」といっていました。今のこどもたちの習い事としても人気があるそうです。

「立秋」の節気の七十二候の一つに「寒蟬（ひぐらし）鳴く」（8 月 10 日から 16 日）があります。これは中国から伝わってきた七十二候では「寒蟬＝かんせん」と記されていましたが、明治時代、日本の風土にあうように書き直された本朝七十二候では、「ひぐらし、なく」と書き換えられています。では、ひぐらしは、いつなくのでしょうか。カナカナカナ・・・。物悲しい鳴き声に夏のおわりをイメージしますが、夏至のころにはもう鳴いています。長野にいる友人が 7 月中旬ごろ「ひぐらしが鳴いてる」とメールをくれました。立秋ごろから鳴くのは、つくつく法師だそうです。寒蟬（かんせん）は、ひぐらしより、つくつく法師と書き換えた方が良かったのではという説もあるそうです。

蟬時雨が聞こえて、ひまわりが眩しく咲き誇り、冷えたスイカにビール、花火に麦茶。そして秋が来て、新米のおいしい季節。金木犀が香り、今年の十五夜は10月1日です。自然を眺め、感じ、心おだやかに過ごしましょう。

みなさま、くれぐれもご自愛ください。次回のともいき便りをお届けするのは「秋分」(9/22)のころとなります。

※「ともいき便り」の行事など由来は下記「ともいき暦」を参照しました。ぜひご覧ください。

「ともいき暦 <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/>」

すとうあさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」日本人の感覚、ジャパネスク。

●希望の光、希望への力の溢れる国。そんな日本になって欲しい!!

新型コロナウイルス感染拡大・世界的な蔓延・地球環境の悪化・地球の温暖化現象・それによる自然災害の多発化、大規模化。これから、われわれはどう日常生活を送っていけばいいのか。どうしたらいいのでしょうか!!? 少しオーバーかもしれませんが、考えていかなければならないテーマです。われわれ、ひとりひとりが、もう一度過去を振り返り、間違いは正していかなければなりません。しかし、絶望を語るのではなく、明るい側面を語っていきたいものです!!

●旧元旦と毎月の満月の日を「ともいきの日」と呼びましょう!!

「ともいきの日」は自然に親しみ、関心を持つ日。日本人の原点である人と自然が共に生きる「ともいき」を自覚する日でもあります。

私たちの祖先は、人間の側から一方的に自然を見るのではなく、人間も自然の一部であり、生かされて生きているという観念のもと、自然の大きな回帰循環する時間の中で生きるということを「生活の知恵」としてきました。しかし、現在、都会では人工物に囲まれ、人は「人間圏」をつくり、自然を追いやっています。それと同時に自然への畏怖畏敬、祈り、感謝の念を見失おうとしています。

「自然の豊かな都市」づくりに、人それぞれの立場で考え、実行実践していきましょう。「暗く荒れた心」の人々を少しでも減らし、「思いやり、いたわり、

やさしさの心」を持った「心の耀き」のある美しい人びとが少しでも多くなっ
てほしいものです。

日本 2020 ジャパネスク
「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。
日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

今年はずべての面で異常な年のように感じます。関東は 8 月入ってようやく梅雨明け、7月の台風発生はゼロでしたが、九州地方、特に熊本、そして東北の山形では大雨による洪水によって多くの尊い命が奪われ、いまま避難生活を強いられている方々が多くいます。

コロナへの対応も「ゆっくり進む大規模自然災害が世界規模で発生している」という感覚が必要だと感じます。

ここはやはり、日本人が先人から受け継ぐ自然への考え方、自然と共に生きる方法の知恵と工夫によって、乗り切るしかないのではないのでしょうか？

●日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「日本とは、日本人とは、その心とは何か？」

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしくお願ひします。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp